



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月6日

上場会社名 ダイワボホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3107 URL <https://www.daiwabo-holdings.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西村 幸浩
問合せ先責任者 (役職名) 財務管理室長 (氏名) 花岡 博之 TEL 06-7739-7300
配当支払開始予定日 －
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円 1,001,231	% 23.8	百万円 32,735	% 48.7	百万円 33,158	% 47.8	百万円 22,452	% 46.0
2025年3月期第3四半期	808,801	19.8	22,012	16.4	22,430	17.1	15,377	－

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 23,878百万円 (45.8%) 2025年3月期第3四半期 16,382百万円 (－%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 252.48	円 銭 －
2025年3月期第3四半期	167.74	－

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 459,277	百万円 160,719	% 35.0
2025年3月期	440,122	152,310	34.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 160,719百万円 2025年3月期 152,088百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 －	円 銭 45.00	円 銭 －	円 銭 45.00	円 銭 90.00
2026年3月期	－	50.00	－		
2026年3月期(予想)				55.00	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想につきましては、本日(2026年2月6日)公表いたしました「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 1,337,000	% 17.6	百万円 45,000	% 28.9	百万円 45,300	% 27.8	百万円 30,800	% 24.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) 蘇州大和針織服装有限公司

(注) 詳細は、添付資料 P. 7 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲の変更に関する注記）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	88,479,028株	2025年3月期	96,356,460株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	1,042,282株	2025年3月期	6,535,924株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	88,928,303株	2025年3月期 3Q	91,671,698株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 2 ページ「1. 経営成績等の概況

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲の変更に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな景気回復がみられましたが、円安の進行、物価上昇の長期化や米国の通商政策による影響の懸念などもあり先行きについては不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画（2025年3月期～2027年3月期）の対象期間を「事業ポートフォリオ変革による躍進期」と位置づけ、グループ基本方針として「ホールディングス体制での成長」「“過去最高”へのチャレンジ」「ステークホルダーエンゲージメントの向上」を掲げ、中長期ビジョンである『2030 VISION』の実現における重要な挑戦期間として引き続き企業価値の向上に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,001,231百万円（前年同期比23.8%増）、営業利益は32,735百万円（前年同期比48.7%増）、経常利益は33,158百万円（前年同期比47.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22,452百万円（前年同期比46.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(ITインフラ流通事業)

2025年10月のWindows10サポート終了（EOS）を受けたリプレースの残存需要の取り込みと、GIGAスクール第2期の納入フェーズへの対応のため、販売パートナーとともに全国自治体との連携を強化し、安定的な供給と計画的な提案により着実な業績向上に努めました。

企業向けでは、前年に大規模案件を獲得したサーバー・ネットワーク製品群は、前年同期比で苦戦したものの、クライアントPCのみならず周辺機器を含めたIT複合提案が奏功し、安定した受注を確保しました。また、重点施策であるサブスクリプション管理ポータル「iKAZUCHI（雷）」の提案活動を強化し、クラウド環境の構築やサービス導入に向けたニーズの取り込みを図りました。クライアントPCでは、EOSに伴う需要は徐々に平常化し、特需期であった前年を下回るものの、通常期より高い水準で推移しており、文教分野においてGIGAスクール関連での実績が寄与し前年を大幅に上回る結果となりました。業種別では、サービス業、製造業、小売業、金融業を中心に、需要が堅調に推移しました。官公庁向けは、地方公共団体向けの案件を獲得したことで、前年を上回る売上を達成しました。文教向けでは、GIGAスクール第2期の共同調達案件の納入が本格化したことで大幅な増収となりました。個人向け市場では、量販店向け、EC向けとともにPC販売が好調で、前年同期比で増収を達成しました。

以上の結果、当事業の売上高は991,468百万円（前年同期比24.0%増）、営業利益は32,051百万円（前年同期比49.2%増）となりました。

(産業機械事業)

工作機械部門では、国内において好調な造船、エネルギー業界からの堅調な受注が継続しており、主力の航空機業界も需要回復が続いております。海外向けの受注状況は、中国向けの風力発電など一部好調な業界および、米国向けではエネルギー業界などの需要の回復により増加しました。売上高は、金型業界向け大型機の売上もあり、前年同期比で増加し、それに伴い営業利益も増加しました。自動機械部門では売上高は前年同期比で微減でしたが、利益率が改善したことで増益となりました。

以上の結果、当事業の売上高は9,763百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は675百万円（前年同期比26.8%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、売掛金や商品及び製品の増加等により前連結会計年度末に比べて19,155百万円増加し459,277百万円となりました。また、負債は、短期借入金の増加等により前連結会計年度末に比べて10,745百万円増加し298,557百万円となりました。純資産は、自己株式の消去により自己株式が19,253百万円減少、資本剰余金が13百万円、利益剰余金が19,240百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により前連結会計年度末に比べて8,409百万円増加し160,719百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年11月6日に公表しました連結業績予想から変更をしておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	55,421	12,410
受取手形	1,908	918
売掛金	262,898	281,751
電子記録債権	23,689	36,956
商品及び製品	45,495	68,303
仕掛品	3,272	3,397
原材料及び貯蔵品	174	167
その他	14,958	21,342
貸倒引当金	△39	△42
流动資産合計	407,778	425,204
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,022	4,022
その他（純額）	7,230	8,510
有形固定資産合計	11,252	12,532
無形固定資産		
のれん	1,201	1,088
顧客関連資産	928	841
その他	2,843	4,598
無形固定資産合計	4,973	6,528
投資その他の資産		
その他	16,170	15,054
貸倒引当金	△52	△43
投資その他の資産合計	16,117	15,011
固定資産合計	32,343	34,072
資産合計	440,122	459,277

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	228,422	213,595
短期借入金	8,904	42,704
未払法人税等	7,914	4,021
賞与引当金	3,254	1,378
その他の引当金	388	303
その他	18,894	20,901
流動負債合計	267,779	282,903
固定負債		
長期借入金	11,799	8,232
役員株式給付引当金	233	358
退職給付に係る負債	1,881	1,172
その他	6,118	5,890
固定負債合計	20,032	15,653
負債合計	287,811	298,557
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,696	21,696
資本剰余金	7,954	7,941
利益剰余金	132,889	127,611
自己株式	△15,088	△2,667
株主資本合計	147,453	154,581
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,755	5,358
繰延ヘッジ損益	△188	△34
為替換算調整勘定	344	64
退職給付に係る調整累計額	723	748
その他の包括利益累計額合計	4,635	6,138
非支配株主持分	222	—
純資産合計	152,310	160,719
負債純資産合計	440,122	459,277

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	808,801	1,001,231
売上原価	754,735	931,072
売上総利益	54,066	70,158
販売費及び一般管理費	32,053	37,423
営業利益	22,012	32,735
営業外収益		
受取利息	2	28
受取配当金	268	319
販売支援金	272	443
その他	279	57
営業外収益合計	822	848
営業外費用		
支払利息	86	193
金融手数料	30	129
自己株式取得費用	132	21
その他	154	81
営業外費用合計	404	425
経常利益	22,430	33,158
特別利益		
関係会社清算益	—	270
特別利益合計	—	270
特別損失		
投資有価証券売却損	—	489
その他	1	—
特別損失合計	1	489
税金等調整前四半期純利益	22,429	32,940
法人税、住民税及び事業税	6,356	9,486
法人税等調整額	695	1,001
法人税等合計	7,052	10,487
四半期純利益	15,377	22,452
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,377	22,452

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	15,377	22,452
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	444	1,602
繰延ヘッジ損益	219	154
為替換算調整勘定	47	△357
退職給付に係る調整額	294	25
その他他の包括利益合計	1,005	1,425
四半期包括利益	16,382	23,878
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,344	23,955
非支配株主に係る四半期包括利益	38	△77

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月14日開催の取締役会決議及び2025年6月19日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,383,600株を6,832百万円で取得しました。また、2025年11月6日開催の取締役会決議に基づき、2025年11月28日付で、自己株式7,877,432株、19,253百万円の消却を実施し、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金13百万円、利益剰余金19,240百万円が減少しております。

これらの結果等により、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が7,941百万円、利益剰余金が127,611百万円、自己株式が2,667百万円となっております。

(連結の範囲の変更に関する注記)

子会社蘇州大和針織服装有限公司は、2025年6月12日付で清算結了したことにより、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,421百万円	1,223百万円
のれんの償却額	112	112

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	I T インフラ 流通事業	産業機械 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	799, 680	9, 121	808, 801	—	808, 801
セグメント間の内部売上高又は 振替高	95	—	95	△95	—
計	799, 776	9, 121	808, 897	△95	808, 801
セグメント利益	21, 477	532	22, 010	2	22, 012

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	I T インフラ 流通事業	産業機械 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	991, 468	9, 763	1, 001, 231	—	1, 001, 231
セグメント間の内部売上高又は 振替高	195	—	195	△195	—
計	991, 663	9, 763	1, 001, 427	△195	1, 001, 231
セグメント利益	32, 051	675	32, 726	8	32, 735

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。